

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関前がすぐに階段になっている為、帰宅願望や徘徊をされている利用者の転倒・転落防止を理由に施錠をさせて頂いている。	日中開錠する時間を設ける。	利用者の不穏状態やその日の職員体制を考慮しながら、少しずつ開錠する時間を延ばしていく。帰宅願望や不穏状態にある利用者に対して、スタッフ付き添いの元、ベランダでの日向ぼっこや施設周辺を散歩して頂くことで気分転換を図って頂く。	3ヶ月
2	4	運営推進会議に参加される家族様の顔ぶれが固定化されてきている。地域の方の参加が無い。	家族様、地域の方々等幅広い方々に参加して頂く。	参加者が興味を引くようなテーマを会議の議題に置いて、気軽に参加できる雰囲気を作る。日頃から区長様や民生委員の方を訪問することで、地域の繋がりを測る。グループホームでのイベントに家族様を招待し、その後の運営推進会議を開く。	6ヶ月
3	36	利用者のトイレのドアに鍵が付いていないため、誤って開けてしまわれることがある。	利用者のプライバシーが守られ、安心して使用して頂く。	誤ってドアを開けてしまわないように、トイレのドアに「ノックをして下さい」と張り紙を貼らせて頂く。	3ヶ月
4	35	災害時や緊急時、地域との協力体制が確立されていない。	災害時や緊急時における地域との協力体制が確立出来ている。	火災・災害時の訓練に地域の方々にも参加して頂き、協力体制を築いていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。